

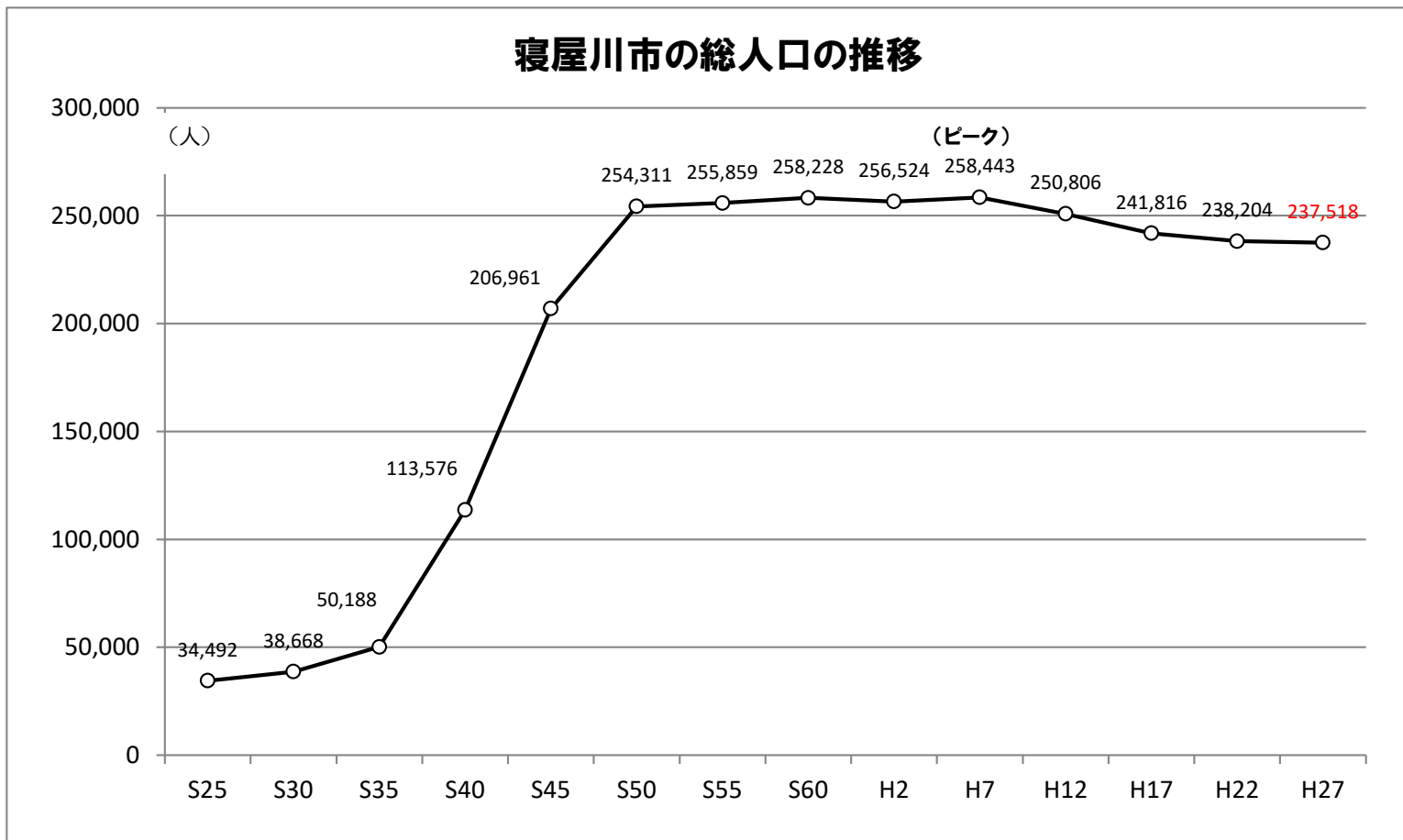
# 寝屋川市の現況

## 《目次》

1. 人口の推移
2. 産業基盤の推移
3. 寝屋川市を取り巻く人の動き
4. 移動の手段
5. 公共交通の状況
6. 公共交通のネットワーク
7. 地域の特徴

# 1. 人口の推移(① 総人口)

- 平成27年現在、寝屋川市の総人口は237,518人
- この20年間で約2.1万人の人口減少

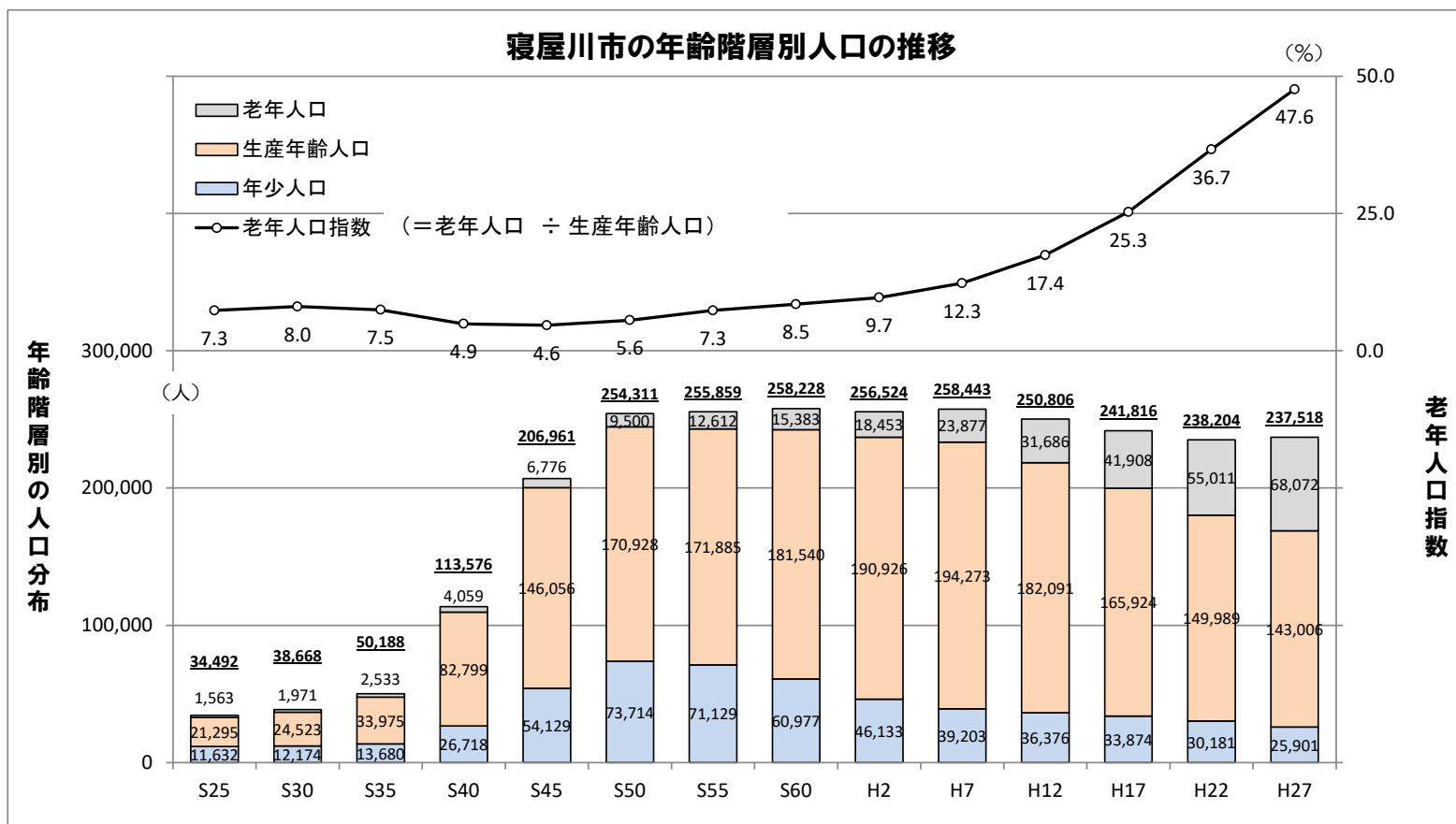


資料：国勢調査，寝屋川市統計

# 1. 人口の推移 (② 年齢階層別の人口)

- 年少人口、生産年齢人口とも減少の一途
- 一方、老年人口は増加。平成27年には老年人口指数\*が**47.6%**まで上昇

※ 老年人口指数 : 老年人口 ÷ 生産年齢人口



資料：国勢調査、寝屋川市人口ビジョン  
(全市人口には、年齢不明分も含む)

# 1. 人口の推移(③ 人口の分布)

- 寝屋川市駅西側に人口が多い地域が存在
- 高齢化率が高い地域(高齢化率:28%以上)  
⇒ 寝屋川市駅西側、北東部の団地、東寝屋川駅周辺に多く存在

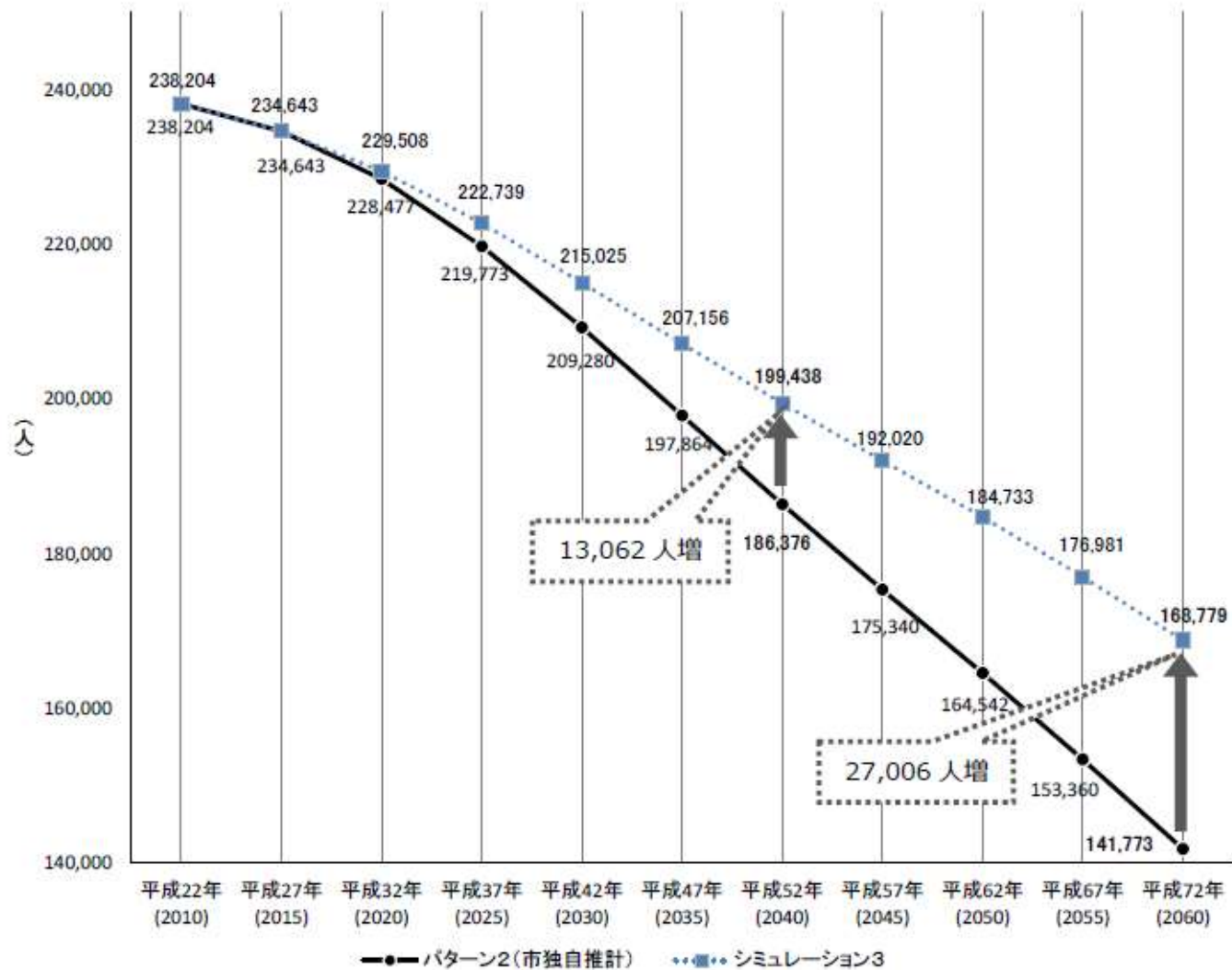
【H27 メッシュ別 総人口】

【H27 メッシュ別 高齢化率】



# 1. 人口の推移(④ 将来の見込み)

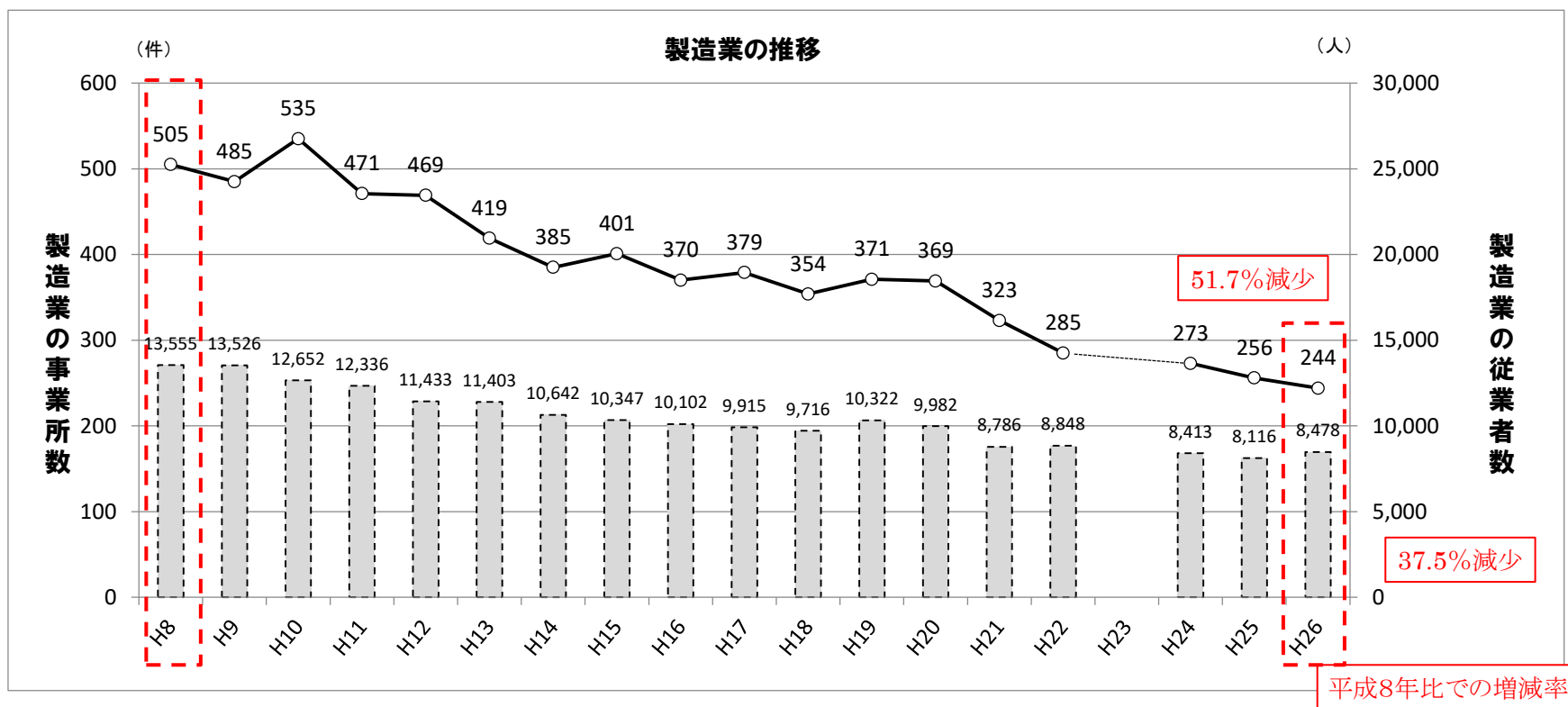
- 平成52年には人口が20万人以下となる見込み



出典：寝屋川市人口ビジョン

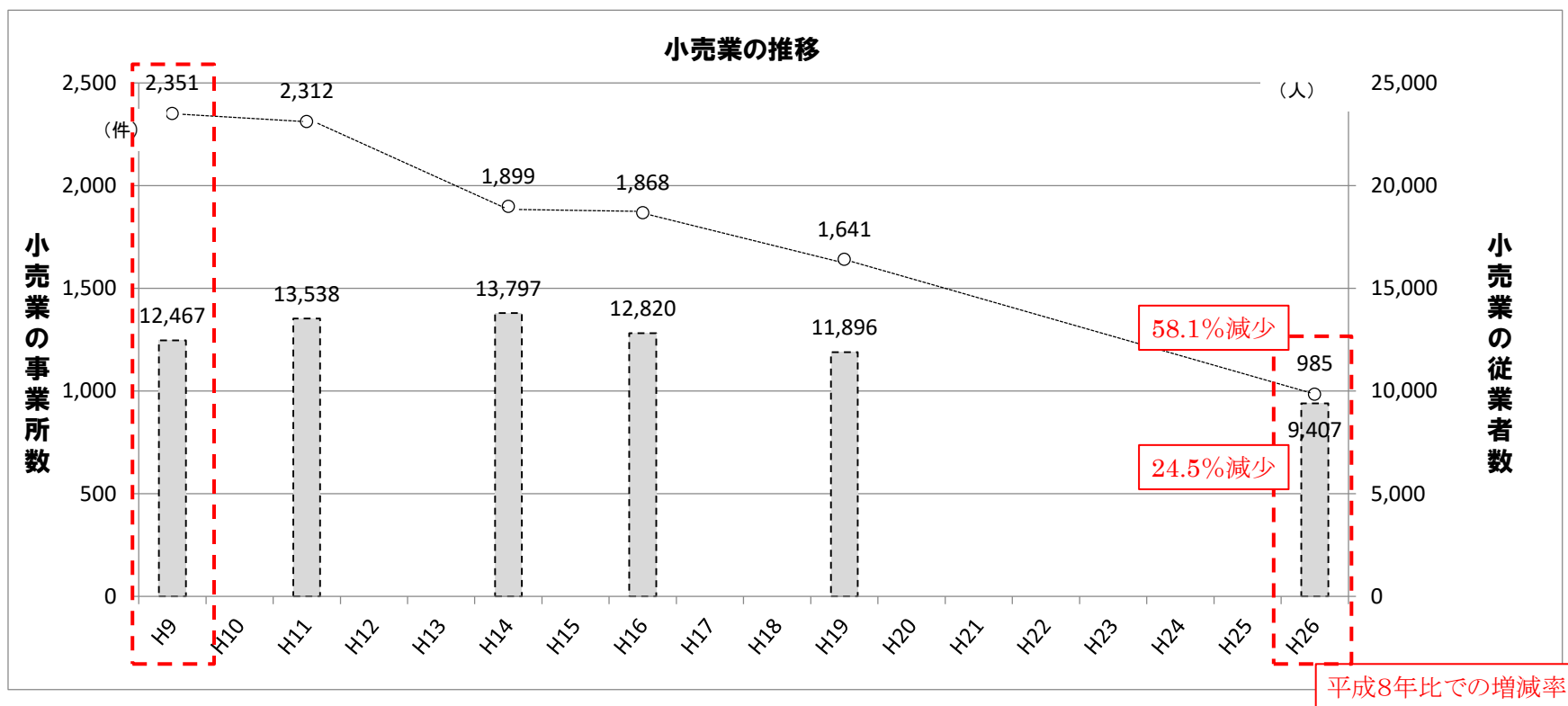
## 2. 産業基盤の推移

- まちの活力を担う製造業の事業所数、従業者数が減少  
(平成8年比で平成26年の事業所数は約51.7%、従業者数は37.5%減少)



## 2. 産業基盤の推移

- まちの活力を担う小売業の事業所数、従業者数が減少  
(平成9年比で平成26年の事業所数は約58.1%、従業者数は約24.5%減少)

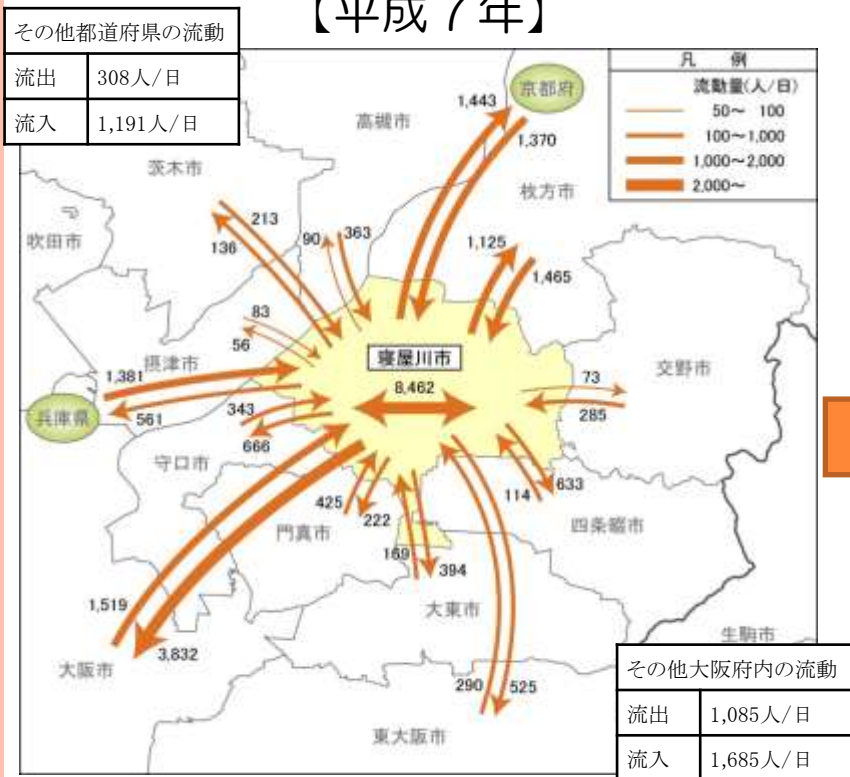


# 3. 寝屋川市を取り巻く人の動き(① 通学者)

- 行き先に関わらず、通学の動きが減少傾向

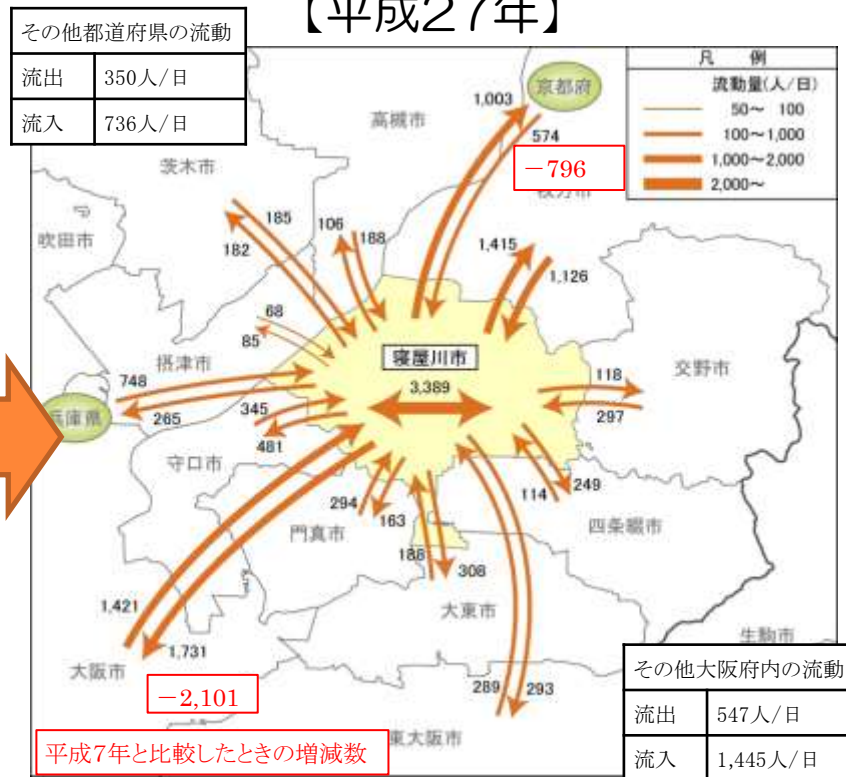
## 地域間の通学の動き(15歳以上通学者)

【平成7年】



内々	8,462人/日
流出	11,149人/日
流入	10,896人/日

【平成27年】



内々	3,389人/日
流出	7,296人/日
流入	8,018人/日

資料：国勢調査



# 3. 寝屋川市を取り巻く人の動き(② 就業者)

- 行き先に関わらず、通勤の動きが減少傾向

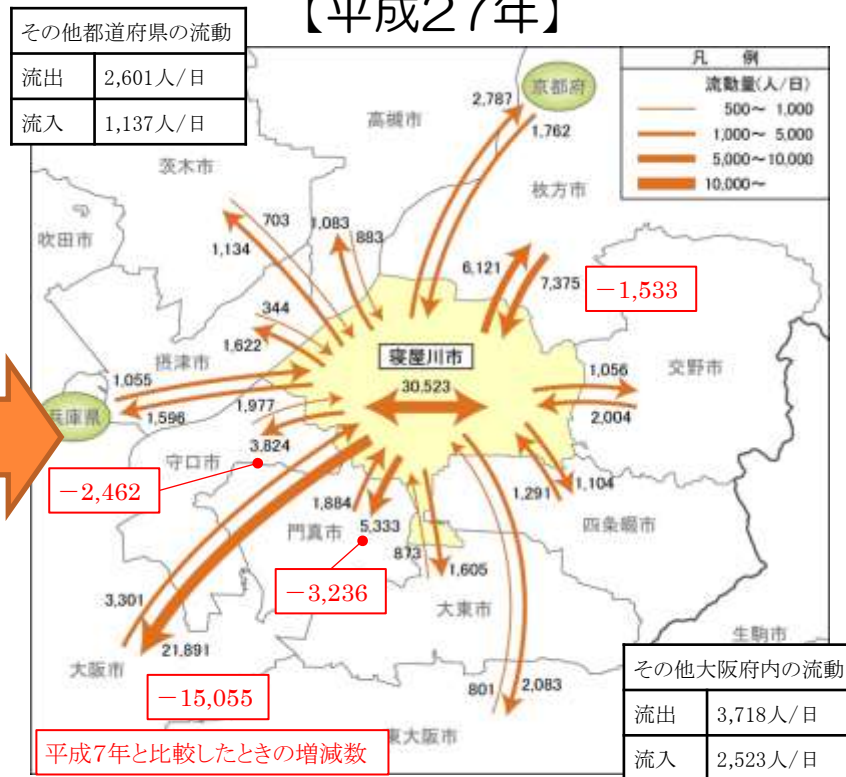
地域間の通勤の動き(15歳以上就業者)

【平成7年】



内々	41,277人/日
流出	80,352人/日
流入	33,167人/日

【平成27年】



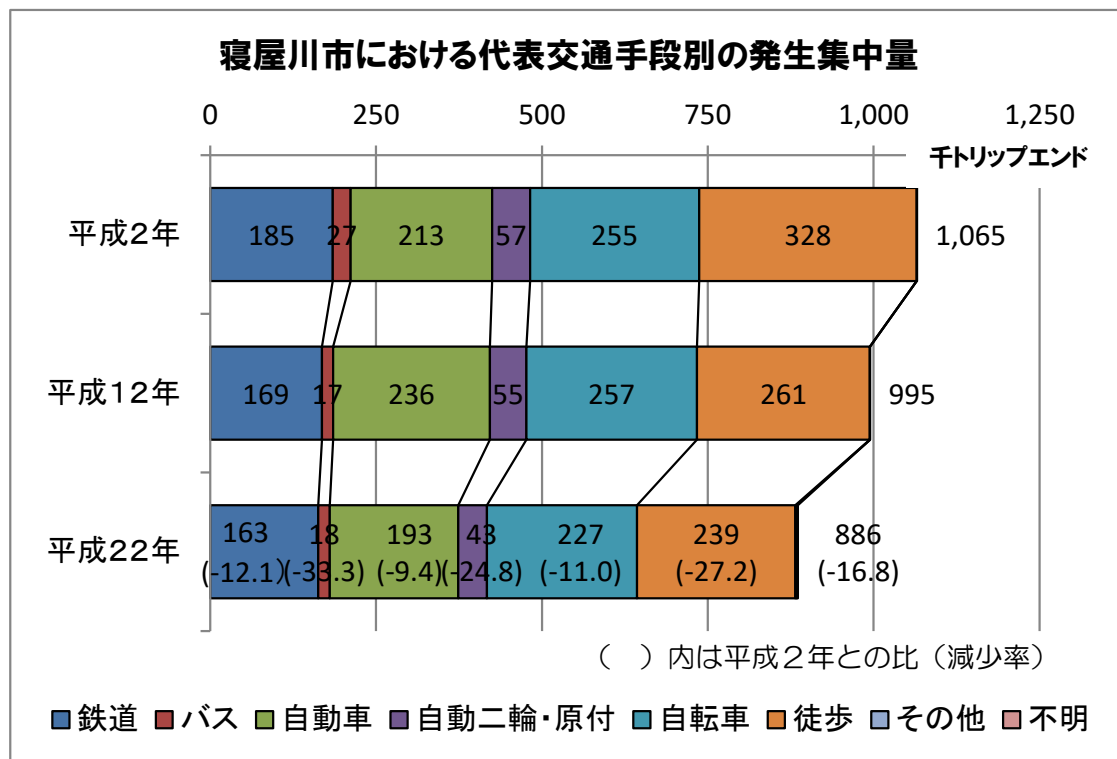
内々	30,523人/日
流出	57,018人/日
流入	27,913人/日

資料：国勢調査

## 4. 移動の手段(① 推移)

- 平成2年以降、人の動き\*が減少
- この20年間で、公共交通による移動も減少

(鉄道の移動が12.1%、バスの移動が33.3%減少。)



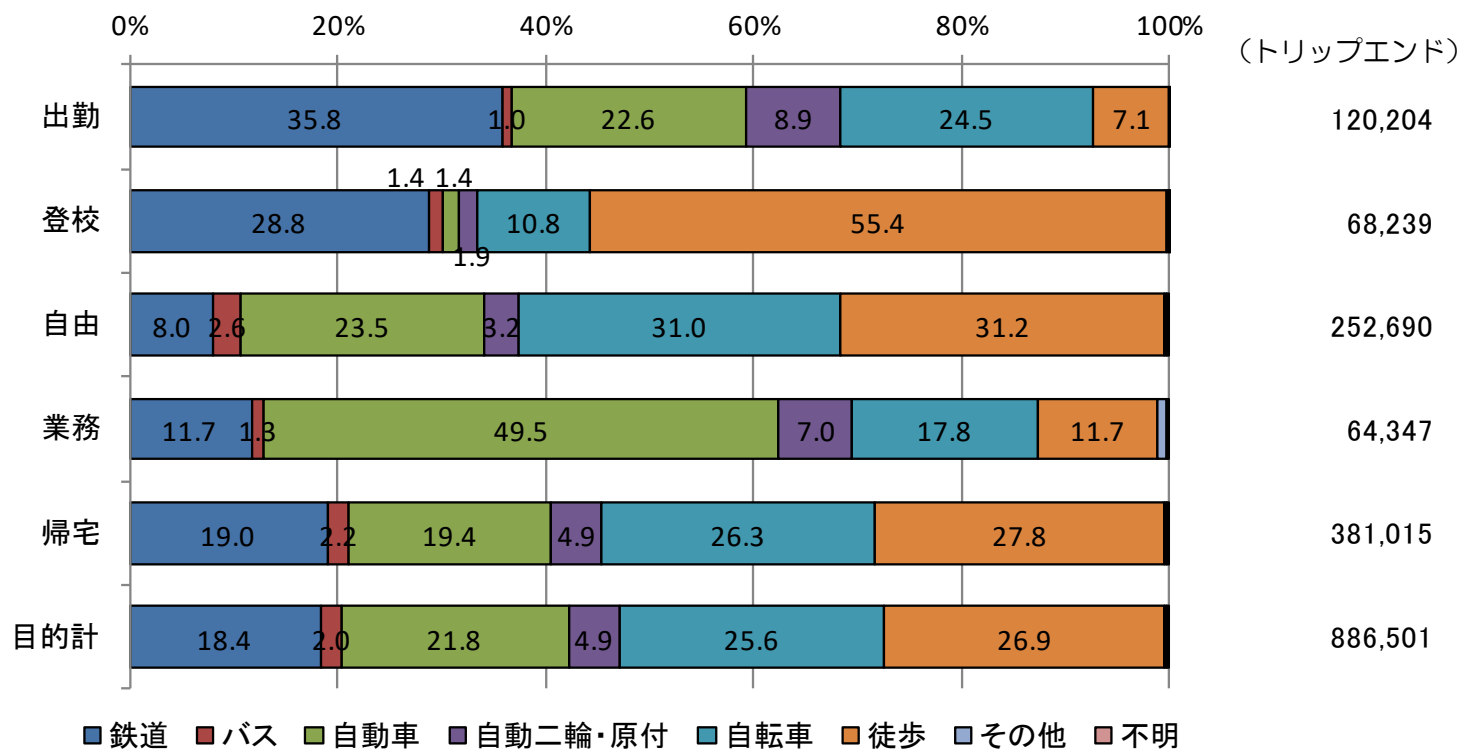
資料：近畿圏パーソントリップ調査(集計システム)

- ※ 人の動き(トリップ) : 人が目的をもって移動する単位  
 代表交通手段 : 1つのトリップの中で、最も主たる移動手段

## 4. 移動の手段(②) 目的別

- 出勤や登校目的では、鉄道利用が約3～4割
- 業務目的では約5割、出勤、自由目的では2割以上が自動車利用

寝屋川市における目的別の移動手段の分担率(代表交通手段)

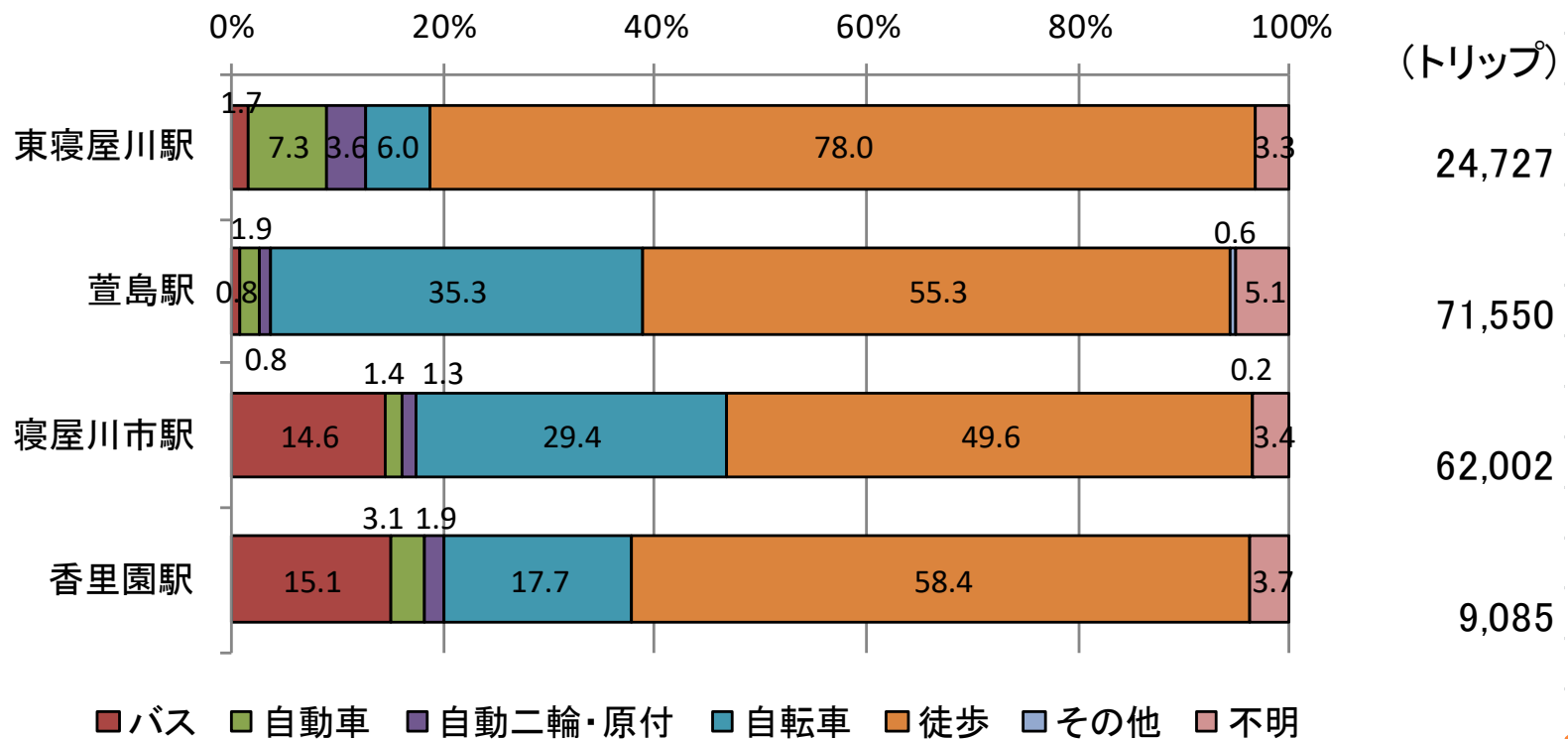


資料：近畿圏パーソントリップ調査(集計システム)  
(目的計には、目的不明の移動も含む)

## 4. 移動の手段 (③ 鉄道駅へのアクセス)

- 寝屋川市駅、香里園駅では、バスが約15%
- 萱島駅では自転車約35%、東寝屋川駅では徒歩が約8割

駅を利用する際の交通手段

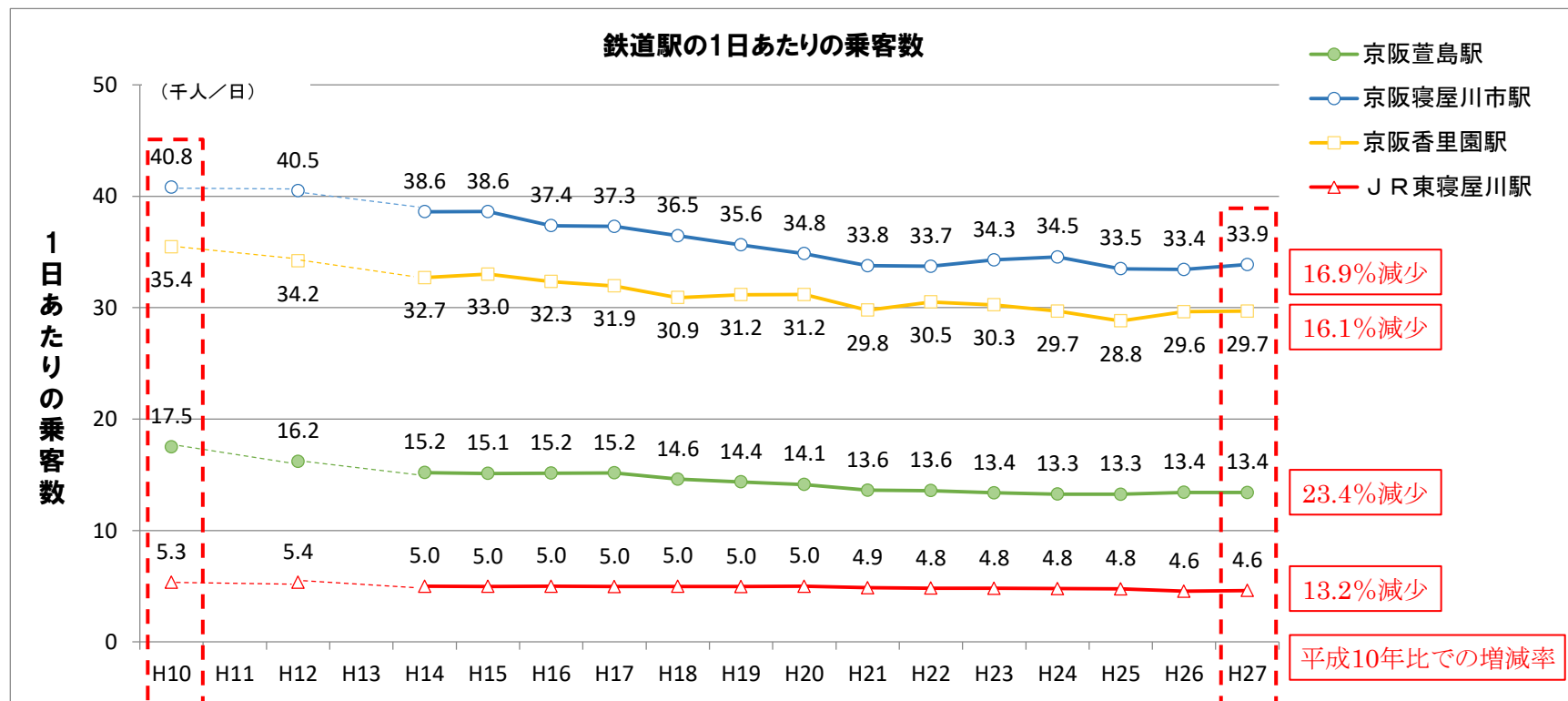


資料：近畿圏パーソントリップ調査（集計システム）

# 5. 公共交通の状況(① 鉄道利用)

○ 平成10年に比べ、全ての駅で乗客数が減少

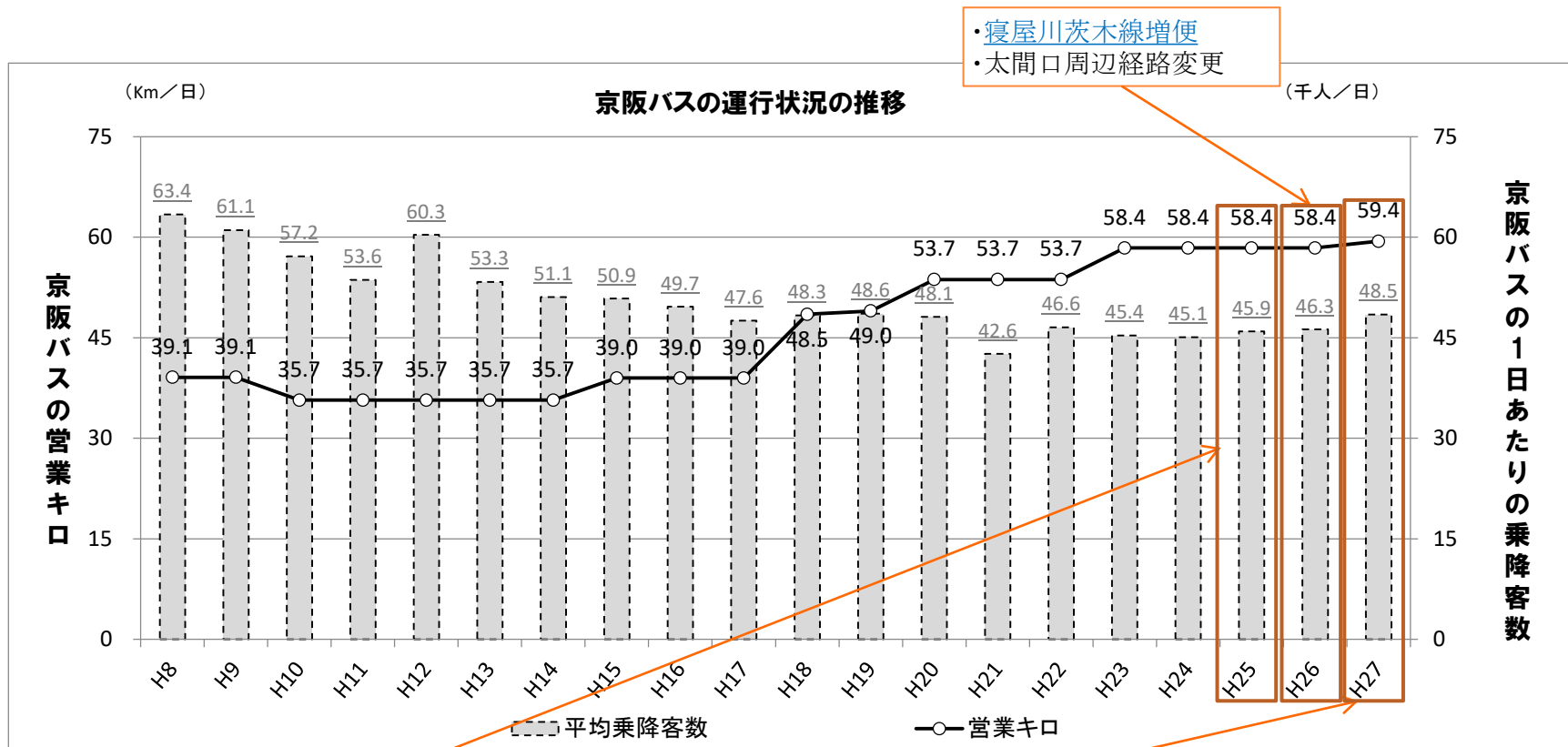
(平成10年比で平成27年は約13.2%～23.4%減少)



資料：寝屋川市統計

# 5. 公共交通の状況(② バスの運行)

- 平成8年に比べ、1日あたりの営業キロは増加、乗降客数は減少  
 (平成8年比で平成27年は営業キロが約51.9%増加、乗降客数が約23.5%減少)



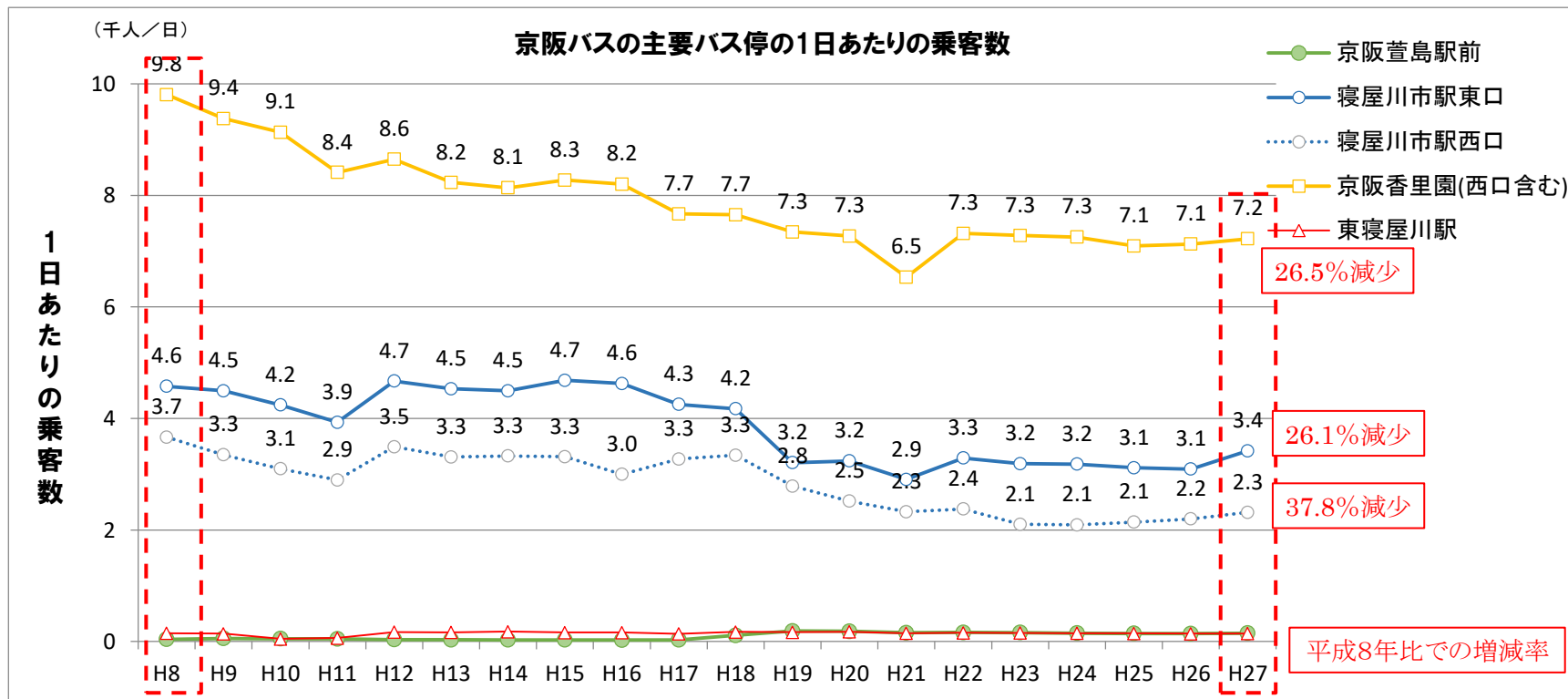
- ・寝屋川茨木線・摂南大学NS便増便
- ・太間公園点野線系統新設
- ・上記に伴い、寝屋川守口線、国道線の輸送力調整
- ・高柳線の平日減便
- ・津田香里線深夜バス新設
- ・寝屋川北部線・寝屋川団地線等輸送力調整

- ・寝屋川音羽町線北行増便
- ・イオンモール四条驛開業による系統新設・延長、寝屋川駅前線への一部経路変更
- ・寝屋川北部線・寝屋川団地線輸送力調整等

資料：寝屋川市統計、第2回協議会資料

# 5. 公共交通の状況(③ バスの利用)

- 平成8年に比べ、寝屋川市駅西口では約37.8%減少
- 京阪香里園駅、寝屋川市駅東口では約26%以上の減少



資料：寝屋川市統計

# 6. 公共交通のネットワーク(① 人口の分布)

- 市内の地域公共交通は人口の集中している部分を中心に網羅的なネットワークを形成
- 駅勢圏・バス停勢圏※内に市内の9割以上の人口が分布

【勢圏内の人口】

	総人口(人)	高齢者数(人)
寝屋川市内	235,991	67,279
勢圏内	216,209	61,530
カバー率	91.6%	91.5%

【H27 メッシュ別 総人口】

【H27 メッシュ別 高齢化率】



※ 立地適正化計画での検討とあわせ、駅勢圏は駅から半径800m、バス停勢圏はバス停から半径300mと定義



## 6. 公共交通のネットワーク(② 市内の施設)

- 市内の施設※1について、公共交通のネットワークとの関係を整理すると、駅勢圏やバス停勢圏※2内にほとんどの施設が立地

Z施設種別※1	駅勢圏やバス停勢圏※2に含まれる施設数
a. 市民文化系施設(集会施設、文化施設)	計13ヶ所の全施設
b. 社会福祉系施設(図書館、博物館等)	計11ヶ所の全施設
c. スポーツ・レクリエーション系施設(スポーツ施設、レクリエーション・観光施設)	計2ヶ所の全施設
d. 産業系施設	計2ヶ所の全施設
e. 学校教育系施設(小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、支援学校)	計48ヶ所のうち、41ヶ所の施設
f. 子育て支援施設(幼稚園、保育所、認定こども園、認定外保育施設、幼児・児童施設)	計82ヶ所のうち、76ヶ所の施設
g. 保健・福祉施設(高齢福祉施設、障害者福祉施設、保健施設)	計9ヶ所のうち、7ヶ所の施設
h. 行政系施設(庁舎等)	計11ヶ所の全施設
j. 国や府の出先機関	計11ヶ所の全施設
k. 大規模医療施設	計14ヶ所のうち、13ヶ所の施設
l. 大規模商業施設	計23ヶ所の全施設

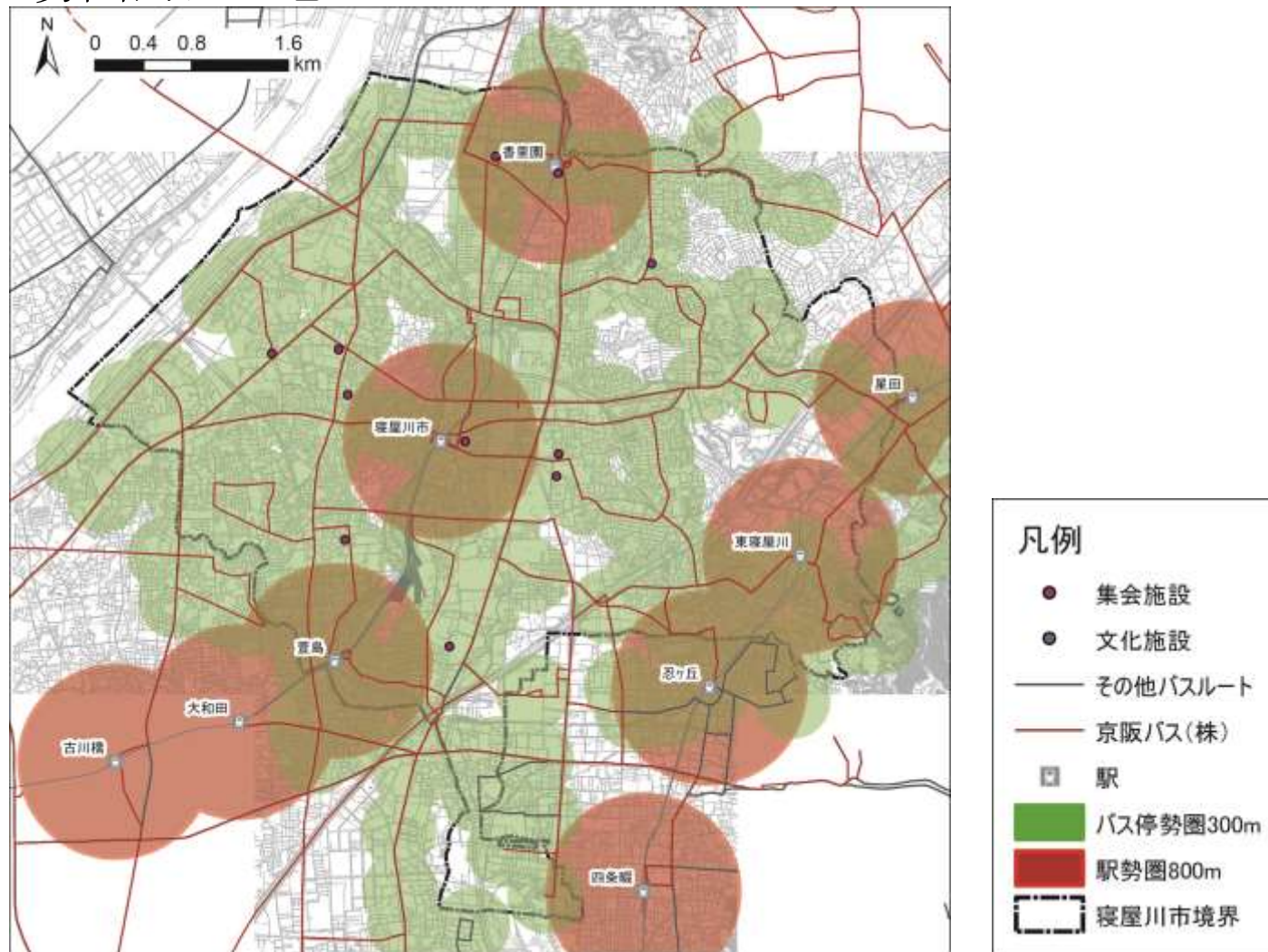
※1 立地適正化計画・公共施設等総合管理計画の分類に基づき整理

※2 立地適正化計画での検討とあわせ、駅勢圏は駅から半径800m、バス停勢圏はバス停から半径300mと定義

## 6. 公共交通のネットワーク(② 市内の施設)

### (a. 市民文化系施設)

- 市内の市民文化系施設(計13ヶ所)については、すべて駅勢圏・バス停勢圏内に立地

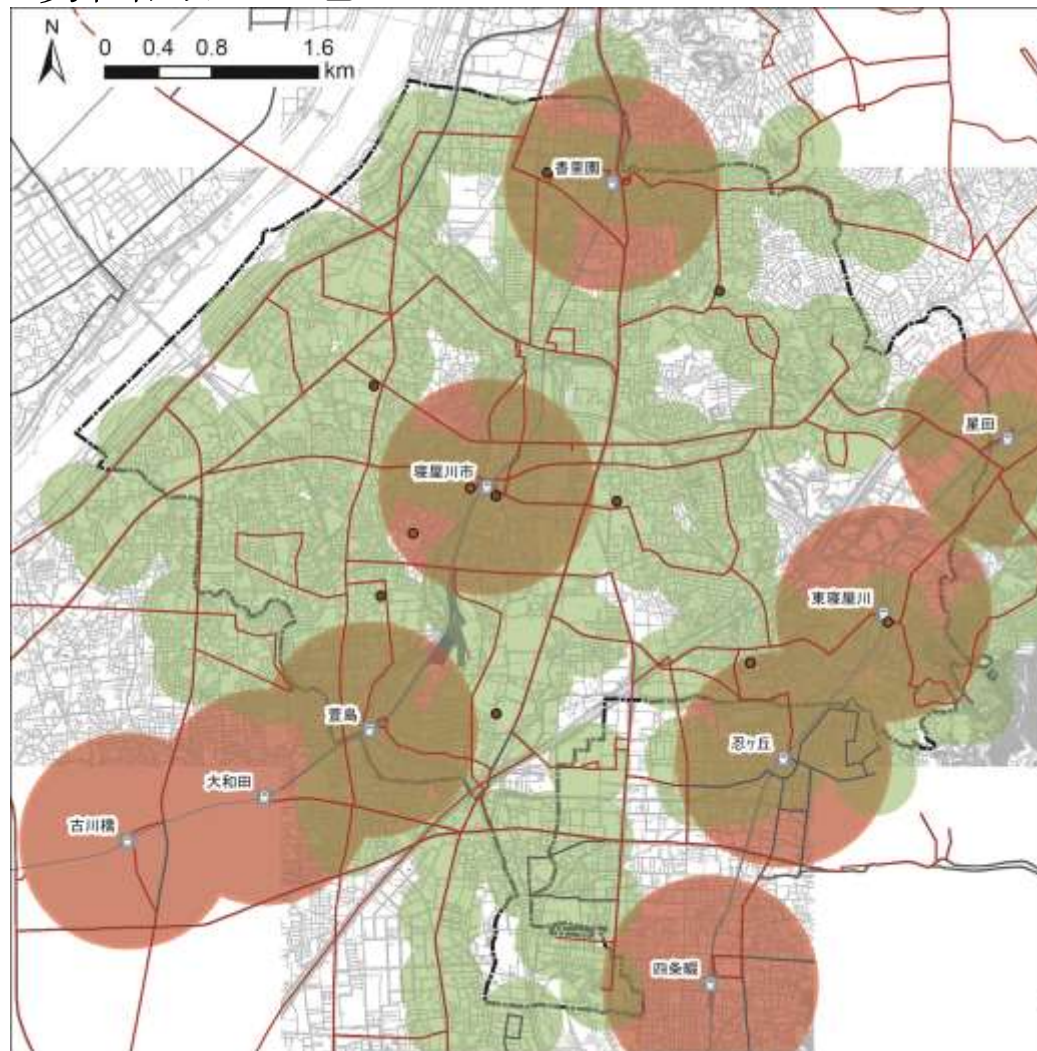


資料：寝屋川市公共施設等総合管理計画（平成29年3月）、寝屋川市HP（平成29年7月現在）

# 6. 公共交通のネットワーク(② 市内の施設)

## (b. 社会福祉系施設)

- 市内の社会福祉系施設(計11ヶ所)については、すべて駅勢圏・バス停勢圏内に立地

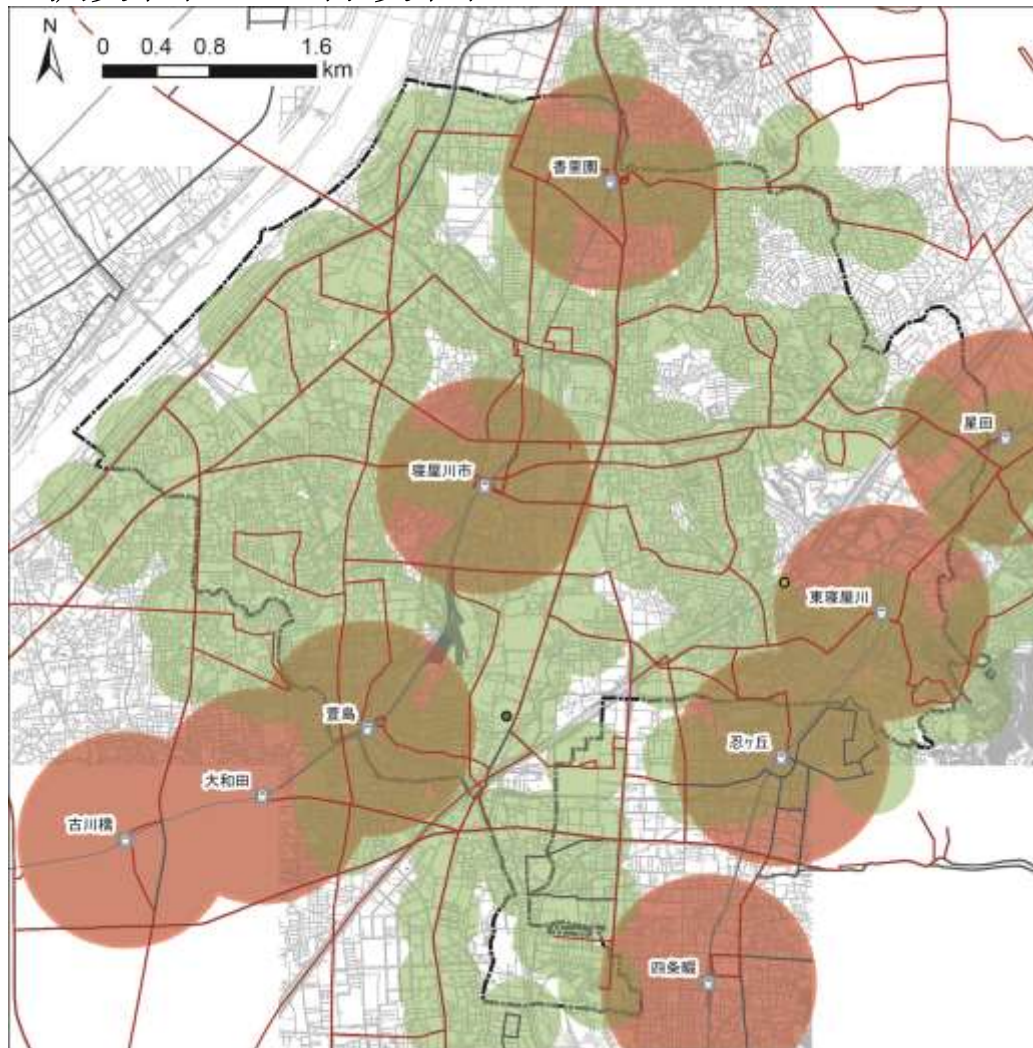


資料：寝屋川市公共施設等総合管理計画（平成29年3月）、寝屋川市HP（平成29年7月現在）

## 6. 公共交通のネットワーク(② 市内の施設)

### (c.スポーツ・レクリエーション系施設)

- 市内のスポーツ・レクリエーション系施設(計2ヶ所)については、すべて駅勢圏・バス停勢圏内に立地



※「寝屋川市野外活動センター」については、四条畷市内に位置するため、整理から除外

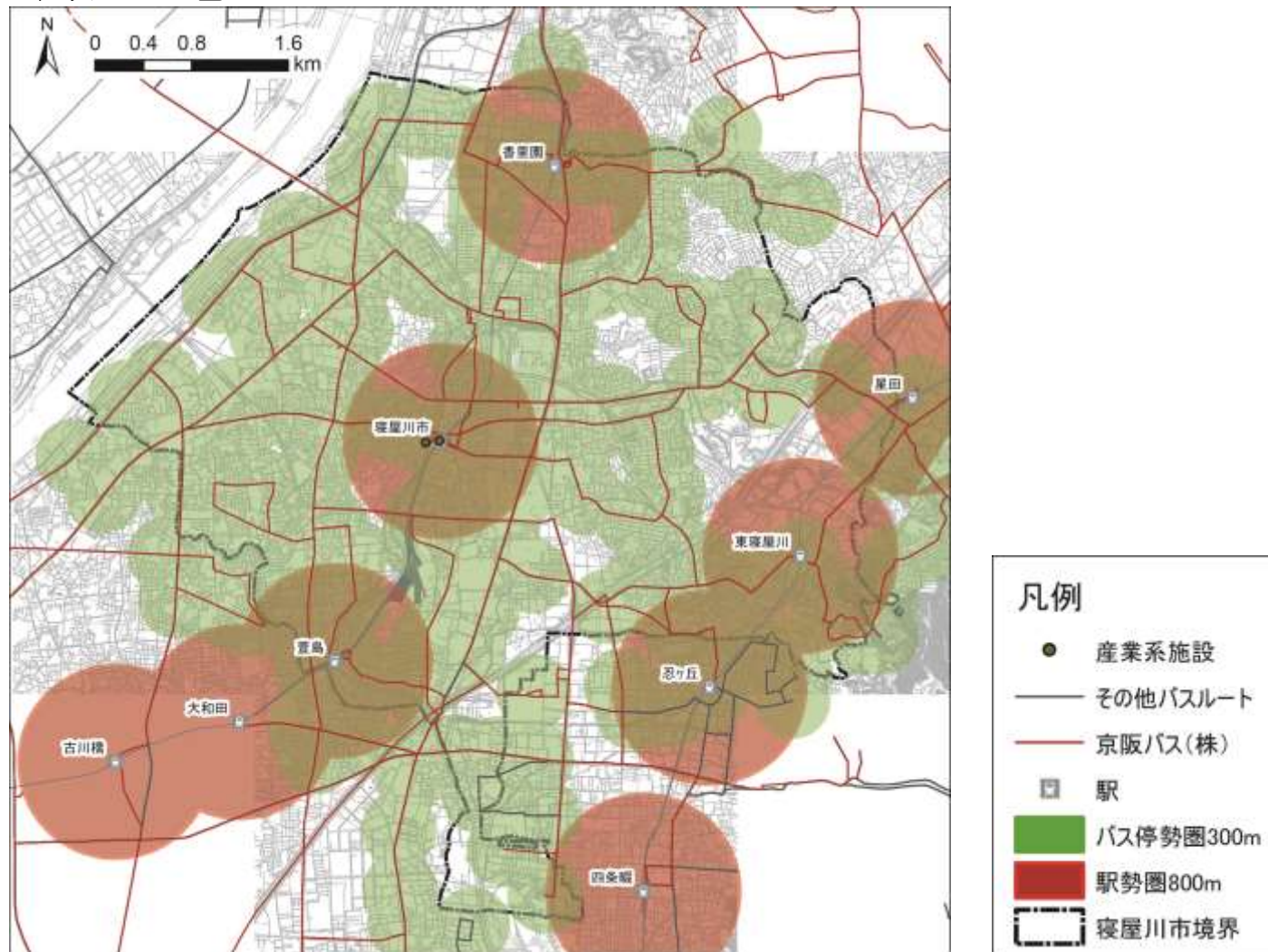
#### 凡例

- スポーツ施設
- レクリエーション・観光施設
- その他バスルート
- 京阪バス(株)
- 駅
- バス停勢圏300m
- 駅勢圏800m
- 寝屋川市境界

## 6. 公共交通のネットワーク(② 市内の施設)

### (d.産業系施設)

- 市内の産業系施設(計2ヶ所)については、すべて駅勢圏・バス停勢圏内に立地

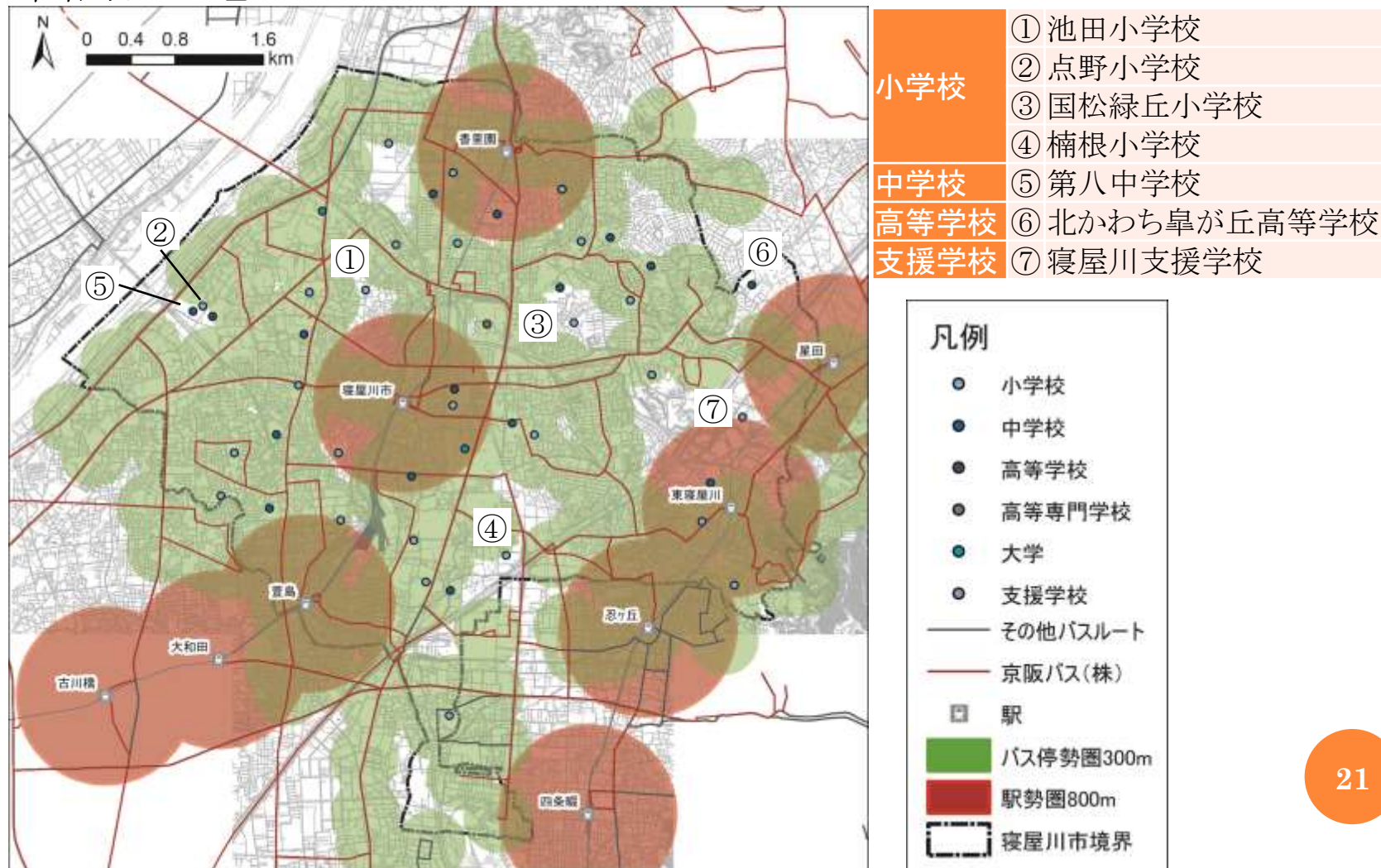


資料：寝屋川市公共施設等総合管理計画（平成29年3月）、寝屋川市HP（平成29年7月現在）

# 6. 公共交通のネットワーク(② 市内の施設)

## (e. 学校教育系施設)

- 市内の学校教育系施設(計48ヶ所)のうち、41ヶ所は駅勢圏・バス停勢圏内に立地



# 6. 公共交通のネットワーク(② 市内の施設)

## (f.子育て支援施設)

- 市内の子育て支援施設(計82ヶ所)のうち76ヶ所は駅勢圏・バス停勢圏内に立地



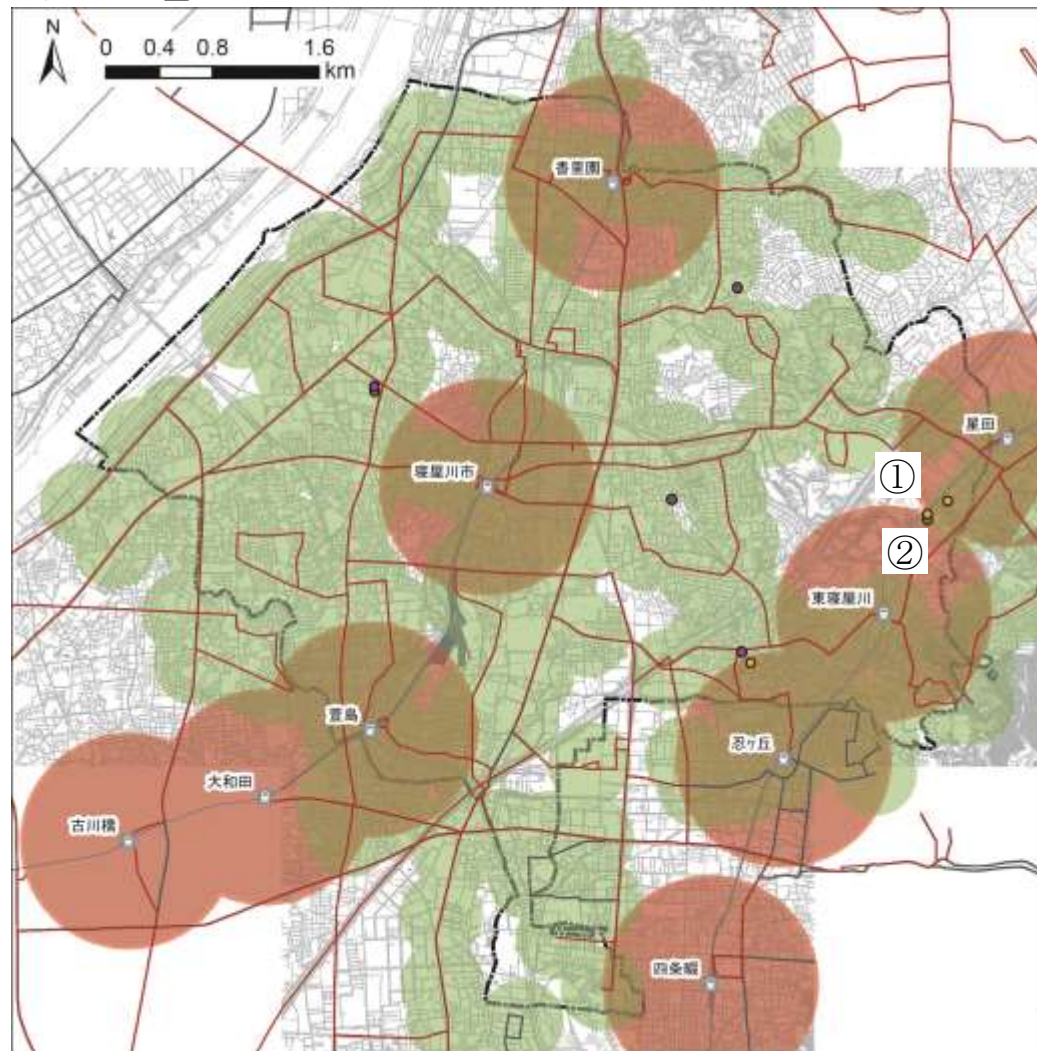
保育所	① 池田保育所
認定 こども園	② 池田すみれこども園
幼児・児 童施設	③ 池田小学校
	④ 点野小学校
	⑤ 国松緑丘小学校
	⑥ 楠根小学校

凡例	
●	認可外保育施設
○	認定こども園
●	保育所
●	幼児・児童施設
●	幼稚園
—	その他バスルート
—	京阪バス(株)
□	駅
■	バス停勢圏300m
■	駅勢圏800m
---	寝屋川市境界

# 6. 公共交通のネットワーク(② 市内の施設)

## (g.保健・福祉施設)

- 市内の保健・福祉施設(計9ヶ所)のうち7ヶ所は駅勢圏・バス停勢圏内に立地



障害福祉施設	① あかつき・ひばり園
保健施設	② あかつき・ひばり歯科診療所

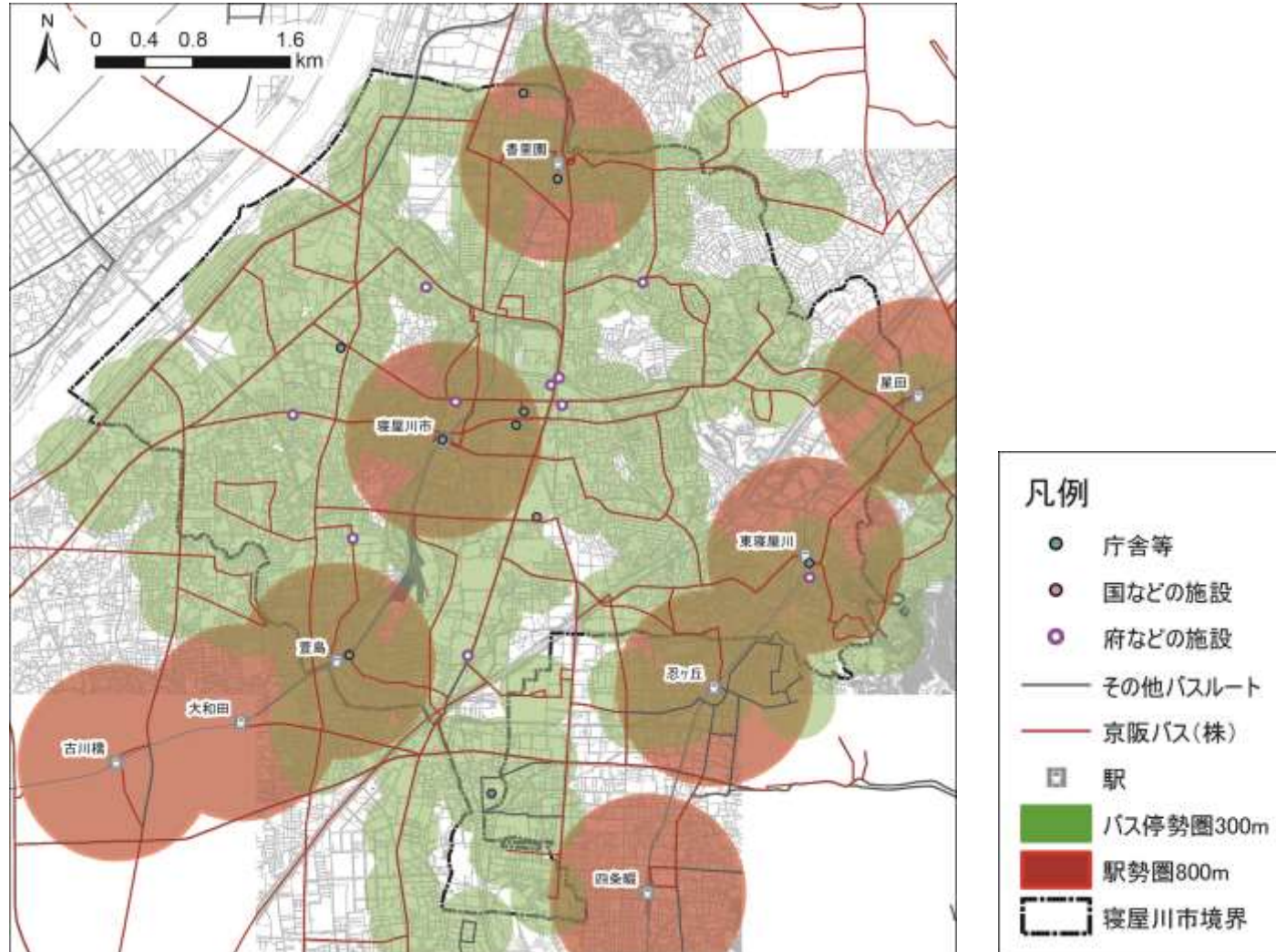




## 6. 公共交通のネットワーク(② 市内の施設)

### (h.行政系施設、i.国や府の出先機関)

- 市内の行政系施設(計11ヶ所)、国や府の出先機関(計11ヶ所)については、すべて駅勢圏・バス停勢圏内に立地

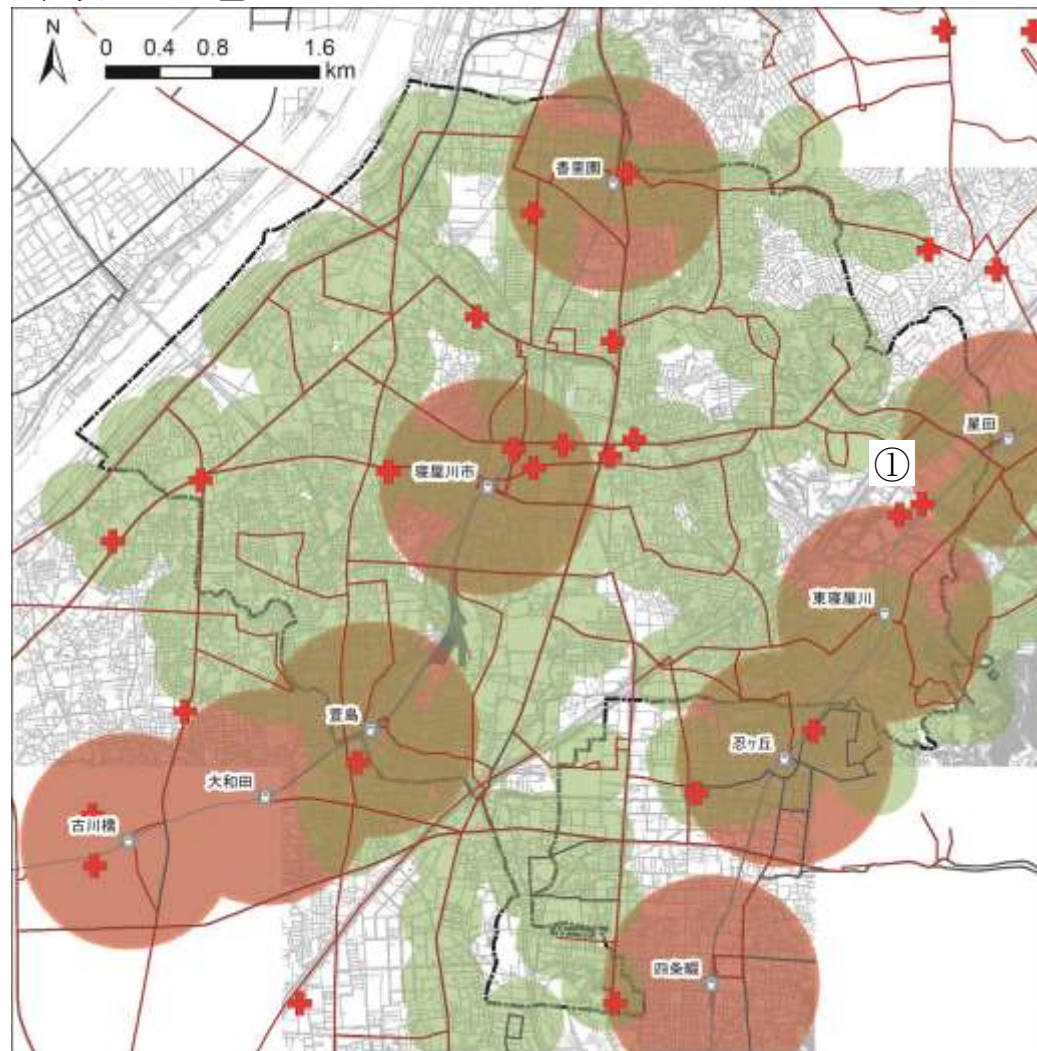


資料：寝屋川市公共施設等総合管理計画（平成29年3月）、寝屋川市HP（平成29年7月現在）

# 6. 公共交通のネットワーク(② 市内の施設)

## (j.大規模医療施設)

- 市内の大規模医療施設(計14ヶ所)のうち13ヶ所は駅勢圏・バス停勢圏内に立地



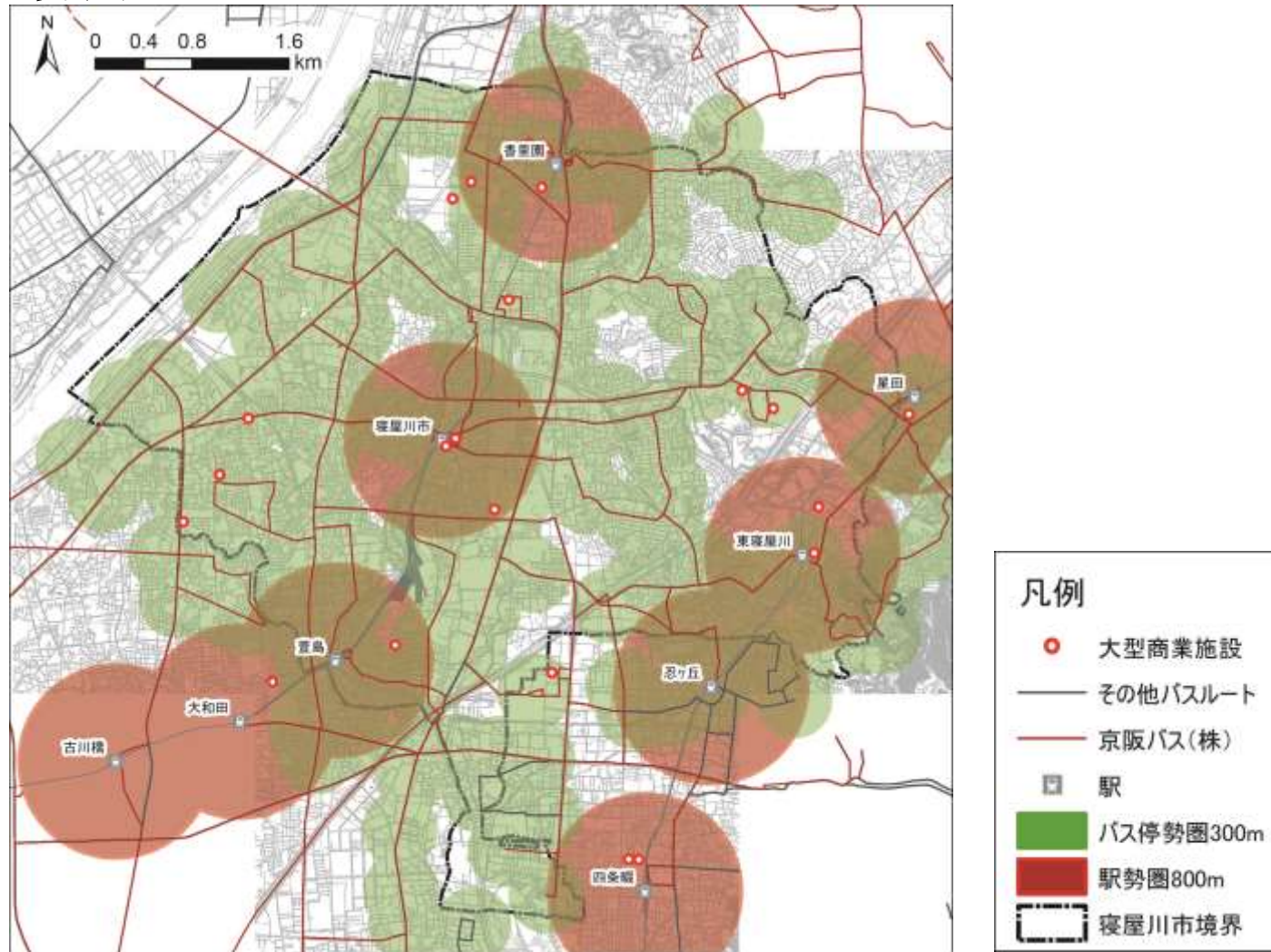
病院 ① 一般財団法人 大阪府結核予防会 大阪病院



## 6. 公共交通のネットワーク(② 市内の施設)

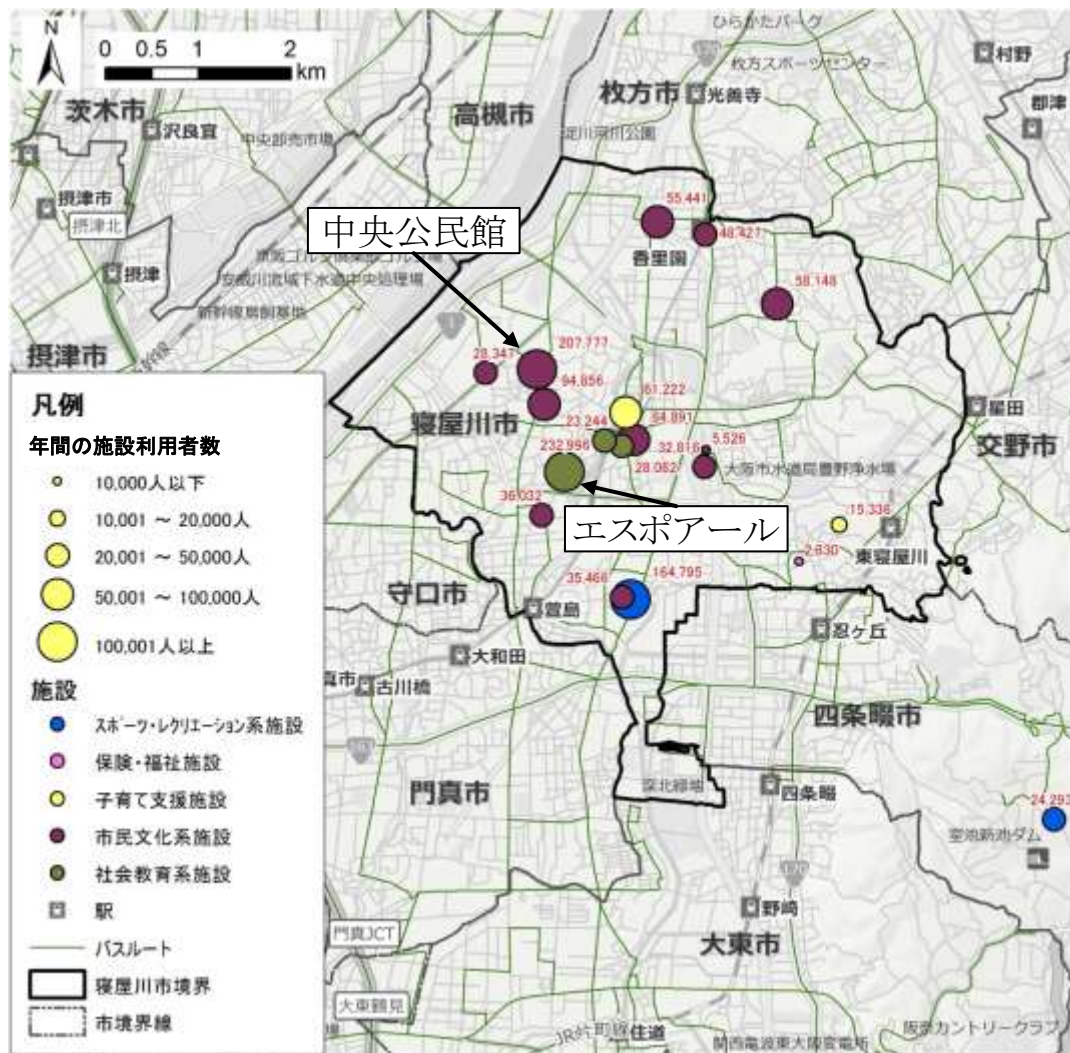
### (k.大規模商業施設)

- 市内の大規模商業施設(計23ヶ所)については、すべて駅勢圏・バス停勢圏※内に立地



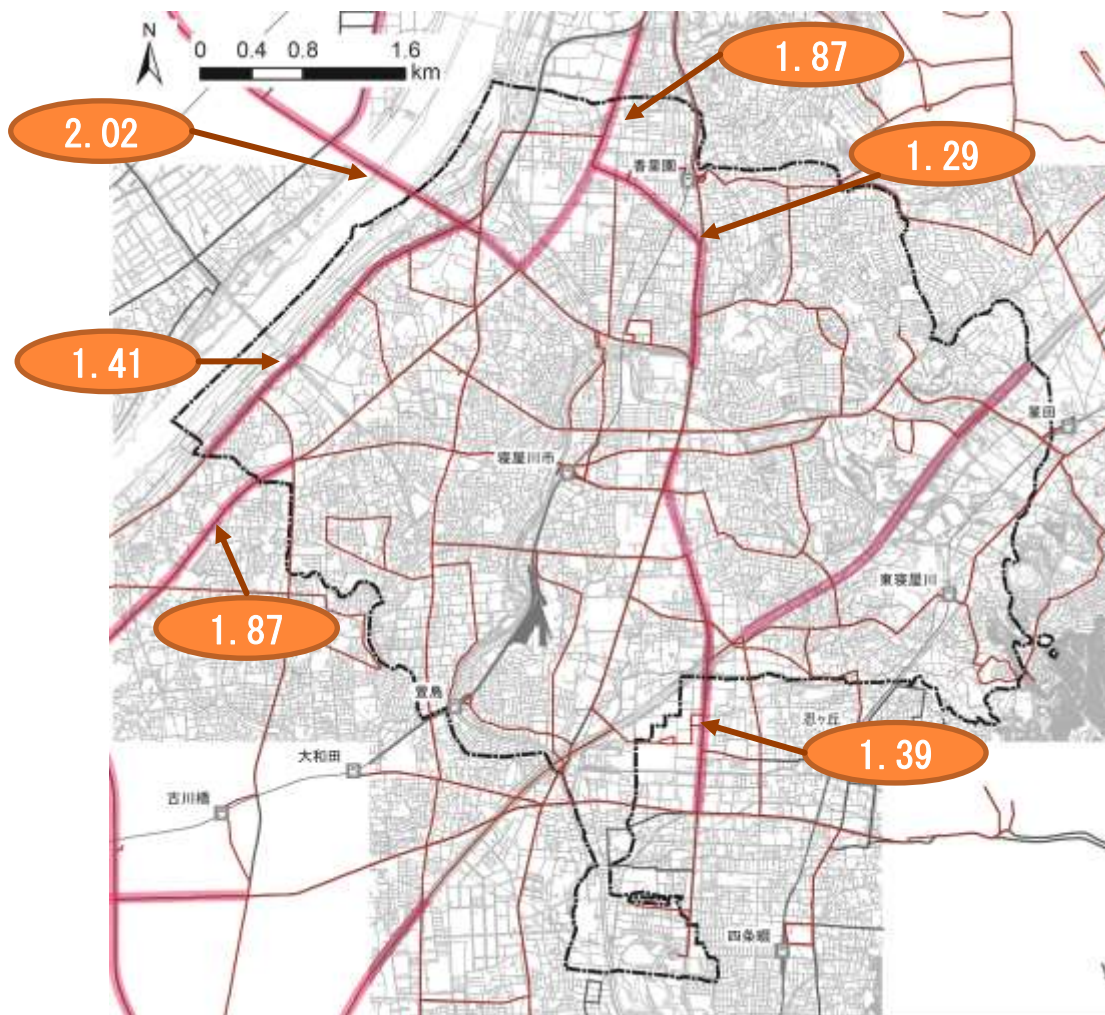
## 6. 公共交通のネットワーク(参考:施設の利用者数)

- 市内の公共施設のうち、中央公民館、エスポアールでは年間20万人以上が利用



## 6. 公共交通のネットワーク(② 道路の混雑度)

- 茨木市や四条畷市に向かうバス路線、香里園周辺のバス路線が道路の混雑(混雑度1.25以上)している部分と重複



混雑度	交通状況の推定
1.0未満	昼間12時間を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。 <u>渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。</u>
1.0～1.25	昼間12時間のうち道路が混雑する可能性が1～2時間(ピーク時間)ある。 <u>何時間も混雑が連続するという可能性は非常に小さい。</u>
1.25～1.75	ピーク時間はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性の高い状態。 <u>ピーク時のみの混雑から日中の連続的混雑への過度状態</u> と考えられる。
1.75以上	<u>慢性的混雑状態</u> を呈する。

凡例	
	駅
	その他バスルート
	京阪バス(株)
	寝屋川市境界
	混雑度(1.25以上)

## 7. 地域の特徴

### 【人口】

- 平成7年をピークに減少  
⇒ 今後も減少が続く見込み
- 高齢化の進展

### 【産業】

- 事業者・従業者数が減少傾向



### 【人の動き】

- 通勤・通学をはじめとする人の動きが減少

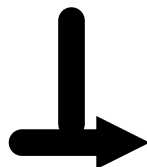


### 【公共交通を取り巻く状況】

- 長期的にみると、鉄道・バスともに利用者が減少傾向  
⇒ 一部の路線で、減便や輸送力の調整が免れない状況

### 【地域公共交通網の現状】

- 市内全域でサービスを提供
- 居住地・主要施設とも、概ねバスネットワークで利用可能※



### 【今後の着眼点】

- 利用者の減少が見込まれる中で、「どのように」、地域の公共交通網を維持・確保していくか

※ 駅から半径800m、バス停勢圏はバス停から半径300m圏内